

| | | | |
|----------|----|-----|--------------|
| 学校 番号 | 66 | 学校名 | 飯田OIDE長姫高等学校 |
|----------|----|-----|--------------|

令和6年度学校評議員活用状況報告書

第 2 回学校評議員会

【令和7年1月17日（金）実施】

1 実施概要（協議研究事項を含む）

- (1) 全校課題研究発表会見学
- (2) 学校評議員会
 - ① 学校からの報告（学校長、進路指導係、生徒指導係、定時制）
 - ② 協議事項
 - ③ 諸連絡

2 今回の実施に当たって工夫したこと

- ・総合技術高校としての取り組みの成果を評価していただくために全校課題研究発表会の見学後に学校評議員会を計画した。
- ・評議員が出席しやすいよう会議の開催通知を早めに郵送し、合わせて今年度の本校の各部署の取り組みをまとめた会議資料を事前に送付した。
- ・評議員会当日は学校側の報告を精選することで協議時間を確保し、評議員の方からより多くの意見をいただけるよう配慮を行った。
- ・今年度の生徒の活動が掲載された新聞記事をまとめた冊子「飯田 OIDE 長姫 Topics」を作成し、本校に対する外部評価の参考資料として活用をお願いした。

3 今回話題になった事項で特徴的なものとその概要

- ・地域の出生数の減少から今後の高校再編が一層加速していくことが予想されるが、専門高校においては専門性を維持し、資格取得実績の確保が図られるよう評議員から要望が出された。
- ・生徒指導係より校内のスマートフォン使用について生徒とともにルールづくりを検討していく取り組みを始めたことについて説明がなされ、評議員からは制服等の身だしなみの向上に関しても同様の進め方を検討したらどうかとの提案をいただいた。
- ・地域行政の取り組みにおいても、高校生の安心・安全な学習環境の維持に力を尽くしたいとの発言を評議員からいただき、高校側からは通学路の安全確保についての要望が出された。

4 成果と課題（学校評議員会以外の活用状況を含む）

- ・進路指導係より今年度の進路実績について進学比率の増加傾向と国公立大学合格者数の向上等の説明がなされ、評議員から評価をしていただくことができた。また、就職希望者に対しては企業側も職場体験の充実等一層の努力が必要であるとの意見が出された。
- ・各評議員には継続して各学科の現場見学会や技術指導講習会、商業科の地域人教育等、直接生徒に関わる部分で多様な協力と支援をいただいている。今後更に制度活用の充実を図り、本校に寄せられる期待に応えるべく学びの場を充実させていきたい。